

「ヒュームフラップ」が平成26年度 NETIS推奨技術に認定されました

NETIS登録No. : CG-100018-V

申請者名 : 株式会社 大和エンジニアリング
技術開発者 : 株式会社 大和エンジニアリング



技術の概要

1. 技術開発の背景及び契機

従来のフラップゲートは、樋管構造がヒューム管の場合でも矩形ゲート構造が主流で、製作重量は重く、戸当たり設置にコンクリート工事が発生し、コンクリート養生期間も含め長い工期が必要とされていました。また、短形の水密構造により排水阻害や、不完全閉塞が生じる問題が付随していたのです。

2. 技術の内容

本技術は、上記の問題点を解消する為、ヒューム管に合せた丸形のゲート構造とし、水密構造も丸形にしています。また製作重量を軽減、水密の向上を図りました。

その上で、ヒューム管へ締め付けバンドによる取り付け構造や、打ち込みアンカーによる取り付け構造とし、工期を短縮させ、簡単に取り付け可能な構造としています。さらに、排水阻害や不完全閉塞の誘発を解消する為、ウエイトにより管勾配によるゲートの傾きを調整できる構造としました。

3. 技術の効果

- ・丸形ゲートにすることでゲートの製作重量の大幅な低減効果があります
- ・製作重量を低減することでゲートの製作費の大幅な削減につながります。
- ・簡単な作業方法でヒューム管の先端に設置可能。コンクリート工等付帯工事が不要とし据付費の大幅な低減効果があります。(ヒューム管設置後の後付施工が可能です。)
- ・排水阻害や不完全閉塞の誘発を、ウエイトによるヒューム管の勾配調整により防止することができます。
- ・盗難防止ナットの採用により、特殊工具無しでは取り外せない構造としています。

4. 技術の適用範囲

〈バンド式〉

- ・ヒューム管にのみ設置可能です。ヒューム管の内径がφ150～φ1000まで対応可能です。
- ・バンドを管にはめ込むために、ヒューム管の突出量が150mm以上必要となります。
- ・ヒューム管の勾配は、6.45% (規格により異なります) までウエイト調整で対応可能です。

〈アンカー式〉

- ・アンカー板により取り付けるため、排水口壁面が平面かつおおむね垂直な場所に設置可能です。(アンカー板を設置できる壁面も必要です)

〈重圧管用〉

- ・重圧管にのみ設置可能です。重圧管の内径がφ200～φ1000まで対応可能です。
- ・バンドを管にはめ込むために、重圧管の突出量が350mm以上必要となります。
- ・重圧管の規格により、対応の可否がありますので、対応可否の確認をお願いします。

製品の紹介

〈バンド式〉



〈アンカー式〉



〈重圧管用〉



問い合わせ先

株式会社大和エンジニアリング

〒731-0103 広島市安佐南区緑井一丁目12番31号

TEL082-876-2111 FAX082-876-2828